

ねらい

子どもたちの学力を向上させるためには、教職員の専門性を高める必要があります。そこで、四日市市では三重大学教育学部と協定を結び、教職員の指導力の向上を図ることをめざして、幼稚園・小中学校に大学の教官を招き、研修を行います。

現状と課題

各学校・園の希望をもとに大学と調整を行い、本年度は35校園が大学の教官を招き、研修を行いました。その内容と回数は、次のとおりです。

三重大学教育学部との連携による研修活動実績

	特別支援	学習指導等	家庭(食)	国語	算数	理科	図工美術	保健体育	道徳	合計
幼稚園	11	7	1							19
小学校	13	11		8	7	4	1	12	6	62
中学校	15	8					1			24
合計	39	26	1	8	7	4	2			105

活動実績については次の様な特徴が見られました。

- ・ 特別支援教育については、幼稚園・小学校・中学校ともに一番希望が多い領域となっており、特別支援教育の概要についての研修から、個々の子どもへの支援のあり方について具体的にアドバイスを受ける研修、また個別の教育支援計画の作成について指導を受ける研修などが増えてきています。
- ・ 複数教科の指導について一人の教官から指導を受け、学習指導全体を見直し、生かそうとする研修が行われています。
- ・ 学力検査の結果について、その見方と指導への生かし方についての研修が行われました。
- ・ 国語・算数・体育・道徳の指導についてなど、昨年度から引き続いて同じ教官の指導を年間数回受け、一貫した研修を行っている学校が見られます。
- ・ 美術教育においては、三泗小中美術展の会場で各校の美術科担当教諭に対しての研修が行われました。学校単位だけではなく、幅広く教員が研修を受けられる機会が設けられました。

上記以外にも、夏季研修講座に三重大学教育学部の教官を講師に迎えました。新しい指導要領における理科教育と、実験実技研修(物理・地学)の3講座で、合計121名が参加しました。

今後の改善方針

大学との連携による研修が定着してきている学校が見られます。それを継続するとともに、新たに始まる外国語活動に関する研修など、新たな分野でも連携できるよう努めます。

より多くの学校・園で大学との連携による研修が実施されるよう情報提供に努めます。

講義を受けるだけでなく、研修の方向性や指導についての検討の場でも連携することにより、系統的な指導を受けることができるよう、方策を探っていきます。

全国学力・学習状況調査の分析など、大学が持っているノウハウを有効に活用できるよう、さらなる連携を図っていきます。